

## 福島第一原子力発電所の状況について（日報）

2026年3月16日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

（下線部が新規事項）

### 【主な作業実績と至近の作業予定等】

・3月5日、協力企業作業員が発電所構外で体調不良を訴えたため、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、救急搬送の必要があると診断されたため、午前7時19分、救急車を要請した。

状況は以下のとおり。

- ・発生時刻 : 午前6時48分頃
- ・発生場所 : 発電所構外
- ・体調不良者の所属 : 協力企業作業員（50代）
- ・意識の有無 : 有り
- ・自立歩行 : 否
- ・身体汚染の有無 : 無し
- ・発生状況 : 発電所構外で作業開始前に体調不良を訴えた。

当該体調不良者は、救急車で搬送先の医療機関に到着。

・救急車出発時刻 : 午前7時48分

・救急車到着時刻 : 午前8時3分

その後、当該体調不良者は、医療機関にて医師の診察を受け、個人の疾病（作業に起因するものではない）と判断されている。

なお、個人の疾病であることから病名等については控えさせていただく。

### 【ALPS 処理水測定・確認用タンクの状況】

| タンク群 | 分析結果                     | 放出開始             | 放出終了 | 放出量 |
|------|--------------------------|------------------|------|-----|
| B    | 運用目標値を満足<br>(採取日 11月20日) | 3月6日<br>午前10時11分 | —    | —   |

・放出を継続している ALPS 処理水測定確認用タンク B 群の放出実績は以下の通りです。

放出実績 : 3月15日午前0時～3月16日午前0時 約 456m<sup>3</sup>

### 【構内および海域モニタリング結果の状況】

・地下水（1～4号機護岸、H4・H6タンクエリア周辺、地下貯水槽周辺、地下水バイパス）、排水路、海水（港湾内、港湾外、1～4号機取水口内）、魚介類、海藻類等の分析結果は、至近の分析値と比較して有意な変動なし。

・なお、トリチウムを中心とした拡散状況や海洋生物の状況を今後継続して確認するため、2022年4月から海水（港湾外）、魚類、海藻類のモニタリングを強化している（2022年4月20日から試料採取を開始）。

※サンプリング結果の詳細については当社ホームページをご参照ください。

<福島第一原子力発電所周辺の放射性物質の分析結果>

<https://www.tepco.co.jp/decommission/data/analysis/>

<福島第一原子力発電所における日々の放射性物質の分析結果>

[https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily\\_analysis/](https://www.tepco.co.jp/decommission/data/daily_analysis/)

## 【原子炉および使用済燃料プールの冷却状況】

### ＜原子炉＞

- ・1～3号機原子炉への注水を継続中（各号機ともに冷温停止状態を継続中）
- ・3号機原子炉格納容器内気中部調査（マイクロドローン調査）において、原子炉格納容器内の気中部をマイクロドローンが飛行することから、3号機の原子炉注水を3月5日より2週間程度の間、断続的に停止する。

（3月5日の原子炉注水量変更予定 調査開始前：3.5m<sup>3</sup>/h→調査中：0m<sup>3</sup>/h→調査終了後：4.0m<sup>3</sup>/h）

2回目（3月6日）以降の調査における原子炉注水量は、原子炉格納容器の水位および次回調査までの時間を考慮して変更することから、調査開始前の3.5m<sup>3</sup>/hおよび調査終了後の4.0m<sup>3</sup>/hから増減する。

一時停止の実績については、別途お知らせする。

3月16日午前10時4分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

（原子炉注水量変更：3.7m<sup>3</sup>/h→0m<sup>3</sup>/h）

その後、調査終了に伴い、午後0時22分、原子炉への注水量を以下のとおり変更した。

（原子炉注水量変更：0m<sup>3</sup>/h→3.7m<sup>3</sup>/h）

引き続き慎重に監視していく。

### ＜使用済燃料プール＞

- ・5,6号機使用済燃料プールを冷却中（3,4号機は燃料取り出し済み）
- ・1号機使用済燃料プール（以下、「SFP」という）は、一次冷却系の弁の分解点検に伴い、3月9日午前9時57分、一次冷却系ポンプを計画的に停止した。  
停止期間は1カ月程度を見込んでいる。  
停止時のSFP水温は24.5℃。冷却を1カ月間行わなかった場合の水温は約38.7℃になると評価しており、運転上の制限である60℃には達しないことを確認している。
- ・1、2号機SFPの共通設備である二次冷却系については、計装品および電気品の定例点検に伴い、3月16日午前10時2分、冷却系ポンプを計画的に停止（2号機SFPの冷却も停止）した。二次冷却系の停止期間は1週間程度を見込んでいる。  
停止時の2号機SFP水温は21.8℃。冷却を1週間行わなかった場合の水温は約25.4℃になると評価しており、運転上の制限である65℃には達しないことを確認している。

## 【1～6号機の状況】

※プラント関連パラメータ等の詳細については当社ホームページをご参照ください。

＜水位・圧力・温度など＞

[https://www.tepco.co.jp/decommission/data/plant\\_data/](https://www.tepco.co.jp/decommission/data/plant_data/)

以 上

### 添付資料

- ・ 過去の実績（2026年1月1日以降）（174KB）

### 参考資料（最終更新日時：2025年12月31日）

- ・ 過去の実績（2025年1月1日～12月31日）（297KB）

### 参考資料（最終更新日時：2024年12月31日）

- ・ 過去の実績（2024年1月1日～12月31日）（349KB）

### 参考資料（最終更新日時：2023年12月31日）

- [過去の実績 \(2023年1月1日～12月31日\) \(325KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2022年12月31日)

- [過去の実績 \(2022年1月1日～12月31日\) \(406KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2021年12月31日)

- [過去の実績 \(2021年1月1日～12月31日\) \(480KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2020年12月31日)

- [過去の実績 \(2020年1月1日～12月31日\) \(344KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2019年12月31日)

- [過去の実績 \(2019年1月1日～12月31日\) \(345KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2018年12月31日)

- [過去の実績 \(2018年1月1日～12月31日\) \(292KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2017年12月31日)

- [過去の実績 \(2017年1月1日～12月31日\) \(322KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2016年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(2016年1月1日～12月31日\) \(385KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 2015年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(2015年1月1日～12月31日\) \(600KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成26年12月31日午後4時)

- [過去の実績 \(平成26年1月1日～12月31日\) \(722KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成25年12月31日午後3時)

- [過去の実績 \(平成25年1月1日～12月31日\) \(821KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成25年10月22日午後3時)

- [過去の実績 \(平成24年1月1日～12月31日\) \(638KB\)](#)

参考資料 (最終更新日時 : 平成24年4月7日午後3時)

- [過去の実績 \(平成23年3月11日～12月31日\) \(523KB\)](#)

※上記資料の最新版は、【「東北地方太平洋沖地震による影響などについて」実績ファイル】ページをご覧ください。